

Gaia10 スタンドアロン版インストール FAQ

目次

1.Windows のログオンユーザーを確認する	2
2-1.Gaia10 がすでにインストールされている場合	3
■システム更新	3
■データ更新	4
2-2.BeingCabinet がすでにインストールされている場合	6
3.インストール時の注意	6
■ポート番号について	6
■他社製品について	6
■データのバックアップについて	7
■アンインストールについて	7
4.Gaia10 初期導入手順	7
5.Gaia10 にて Gaia9 または GaiaRX のデータを使用する	7
6.プロテクトドライバをインストールする	11
■プロテクトドライバを個別にインストールする	11
■プロテクトドライバを手動でインストールする(セットアップメニューからインストールできない場合)	12
7.SQL Anywhere 9 を個別にインストール	15
8.ダウンロード手順	15
9.よくあるエラー	21
10.ご使用時の注意事項	24
11. BeingCabinet の使用について	24
12.インターネットプロテクトについて	26
■お客様ご契約情報について	26
■ライセンスの返却について	27

1.Windows のログオンユーザーを確認する

インストールを行う場合、Windows のログオンユーザーに Administrator 権限が必要です。
必ず Administrator 権限を持つユーザーでログオンし、インストールを行って下さい。

- ①Windows の[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]
-[管理ツール]をダブルクリックします。

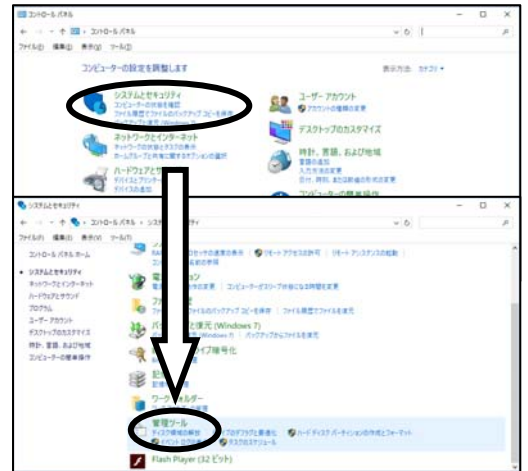
<コントロールパネルを開く>

(Windows10 の場合)

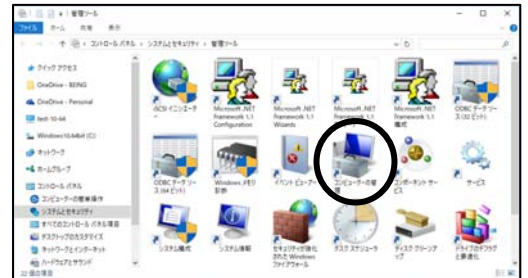
[スタート]ボタンを右クリックし、[検索]をクリックします。検索ボックスに「コントロールパネル」と入力して、[コントロールパネル]を選択します。

(Windows8.1 の場合)

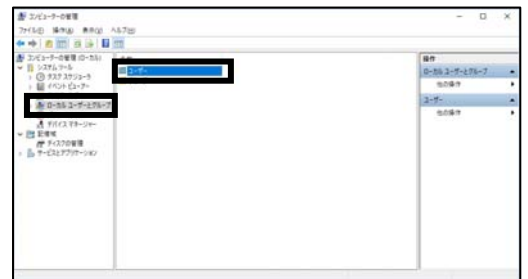
画面の右端からスワイプし、[検索]をタップします(マウスを使っている場合は、画面の右上隅をポイントしてマウスポインターを下へ移動し、[検索]をクリックします)。検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、[コントロールパネル]をタップクリックします。



- ②「管理ツール」画面が表示されます。
[コンピュータの管理]をダブルクリックします。



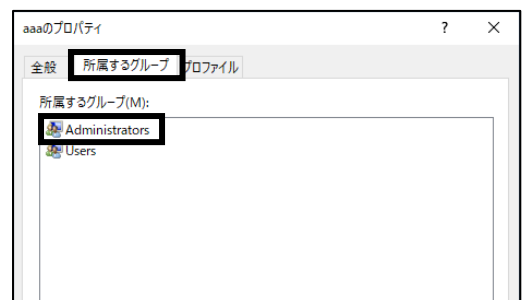
- ③「コンピュータの管理」画面が表示されます。
画面左側の「ローカルユーザーとグループ」をクリックし、画面右側の
[ユーザー]をダブルクリックします。



- ④確認したいユーザーの名称をダブルクリックします。



- ⑤「プロパティ」画面が表示されます。
「所属するグループ」タブをクリックし、Administrator 権限を持つ
グループに所属しているかを確認して下さい。



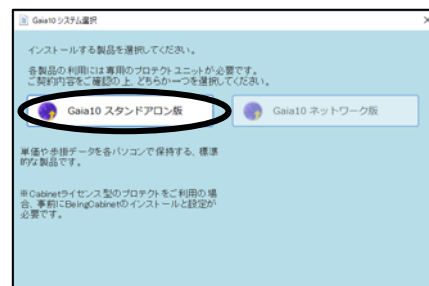
2-1.Gaia10がすでにインストールされている場合

■ システム更新

DVDドライブにGaia10の「Disc1 システム」のDVDを入れます。DVDが読み込まれると、「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が表示されますので、[Gaia10 システム]を選択します。



「Gaia10 システム選択」画面が表示されますので、「Gaia10 スタンドアロン版」を選択します。



「積算システム インストール」画面が表示されます。
[インストールを開始する]をクリックします。
新規インストールと同様の手順にて、システム更新を行います。



●プロテクトの確認

Gaia10をインストールするコンピュータに直接プロテクトを装着している場合と、BeingCabinetをインストールしたコンピュータにプロテクトを装着している場合とで、「BeingCabinet サーバーの設定」の手順が異なります。Gaia10のインストールを始める前にどちらのコンピュータにプロテクトを装着しているか、あらかじめご確認ください。

「BeingCabinet サーバーの設定」画面で、BeingCabinet を使用せず、Gaia10 をインストールするコンピュータを接続しているのに、[キャンセル]をクリックできない場合は、プロテクトの接続状態をご確認ください。

※「エラー12 Calling Sproinitialize」という画面が表示される場合には、「[6.プロテクトドライバをインストールする\(P.11\)](#)」をご参照のうえ、古いバージョンのプロテクトドライバを削除してから、USB プロテクトドライバのインストールを行って下さい。その後、Gaia10 のインストールを行って下さい。

■ データ更新

DVDドライブにGaia10の「Disc2 地域データ」のDVDを入れます。
DVDが読み込まれたら、Windowsのスタートボタンを右クリックから[エクスプローラ]をクリックします。DVDドライブを選択し、「Disc2 地域データ」のDVD内の「setup.hta」ファイルをダブルクリックすると、「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が起動します。

※「Disc2 地域データ」のDVDでは、「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面は自動起動しません。



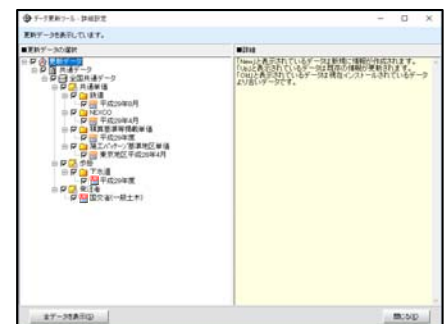
「データ更新ツール」が起動します。



①「詳細設定」画面について

データ更新を行う際、必要に応じて詳細設定を行うことができます。

- ・「データ更新ツール」画面にて、[詳細]をクリックすると、右図の「詳細設定」画面が表示されます。
- ・画面左側のツリーでデータの年度を選択すると、画面右側の「詳細」欄に選択したデータの詳細が表示されます。
- ・[全データを表示]をクリックすると、既存のデータを含め、全データが表示されます。
- ・[未更新データのみ表示]をクリックすると、更新対象データのみが表示されます。
- ・画面左側のツリーにて、更新が必要なデータを選択し、[閉じる]をクリックします。



②編集したデータを保護したい場合は、必ず、画面左下の[お客様の編集されたデータを保護する]にチェックを付けた状態で、[実行]をクリックします。詳しくは、下記「「お客様の編集されたデータを保護する」について」をご参照下さい。

③[実行]をクリックします。

更新処理が完了したら、[終了]をクリックします。

注意点

◆「お客様の編集されたデータを保護する」について

「お客様の編集されたデータを保護する」にチェックを付けることで、お客様が登録・編集したデータを残しておくことができます。この項目にチェックを付けた場合、年度を追加する場合と年度を上書きする場合とで保護される内容が異なります。

また、「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」にチェックを付けると、弊社提供の登録表(単価登録の単価表、および工種登録の表)についてもお客様の編集内容が保護され、最新のデータに更新されません。

※チェックの有無に関わらず、見積単価・見積歩掛・積算根拠は保護されます。

追加する年度には、 のマークが付きます。

上書きする年度には、 のマークが付きます。

●データの各モードについて

- ・ユーザーモード …お客様が作成したデータ（No 欄の数字が黒色のデータ）
- ・ビーイングモード…ビーイングが作成したデータ（No 欄の数字が青色のデータ）
- ・代理店モード …ビーイングおよび代理店で作成したデータ（No 欄の数字が紫色のデータ）

「お客様の編集されたデータを保護する」にチェックがついている場合、年度を追加する場合と上書きする場合それぞれにおいて、保護されるデータを表にまとめました。

保護する対象内容	年度追加	年度上書き
単価登録		
フォルダ		
フォルダの作成	すべてのモードのフォルダが保護されます。	すべてのモードのフォルダが保護されます。
フォルダの名称などの訂正	ユーザーモードのフォルダのみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードのフォルダを訂正した内容が保護されます。
単価項目		
単価項目の新規作成	すべてのモードの単価項目が保護されます。	すべてのモードの単価項目が保護されます。
単価項目の名称などの訂正	ユーザーモードの単価項目のみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードの単価項目を訂正した内容が保護されます。
単価項目の金額の訂正	ユーザーモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額のみ保護されます。	すべてのモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額が保護されます。
単価表の作成	すべてのモードの単価表が保護されます。	すべてのモードの単価表が保護されます。
単価表の表内の編集	ユーザーモードの単価表のみ編集した内容が保護されます。	すべてのモードの単価表を編集した内容が保護されます。
損料登録		
フォルダ		
フォルダの作成	すべてのモードのフォルダが保護されます。	すべてのモードのフォルダが保護されます。
フォルダの名称などの訂正	ユーザーモードのフォルダのみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードのフォルダを訂正した内容が保護されます。
単価項目		
単価項目の新規作成	すべてのモードの単価項目が保護されます。	すべてのモードの単価項目が保護されます。
単価項目の名称などの訂正	ユーザーモードの単価項目のみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードの単価項目を訂正した内容が保護されます。
単価項目の金額の訂正	ユーザーモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額のみ保護されます。	すべてのモードのお客様が作成した単価項目の金額と、お客様が作成したブロック、地区の金額が保護されます。
工種登録		
フォルダ		
フォルダの作成	すべてのモードのフォルダが保護されます。	すべてのモードのフォルダが保護されます。
フォルダの名称などの訂正	ユーザーモードのフォルダのみ訂正した内容が保護されます。	すべてのモードのフォルダを訂正した内容が保護されます。
工種登録の表		
表の作成(自動積算の実行)	すべてのモードの表が保護されます。	すべてのモードの表が保護されます。
表の表内の編集	ユーザーモードの表のみ編集した内容が保護されます。	すべてのモードの表を編集した内容が保護されます。
単価管理		
ブロックの作成	すべてのモードのブロックが保護されます。	すべてのモードのブロックが保護されます。
ブロック名の変更	すべてのモードの変更したブロック名が保護されます。	すべてのモードの変更したブロック名が保護されます。
地区の作成	すべてのモードの地区が保護されます。	すべてのモードの地区が保護されます。
地区名の変更	すべてのモードの変更した地区名が保護されます。	すべてのモードの変更した地区名が保護されます。
年度名称の変更	-	すべてのモードの変更した年度名称が保護されます。

2-2. BeingCabinetがすでにインストールされている場合

BeingCabinet がすでにインストールされている場合、バージョンアップを行う必要があります。

DVDドライブにGaia10の「Disc1 システム」のDVDを入れます。DVDが読み込まれると、「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が表示されますので、[BeingCabinet]を選択します。

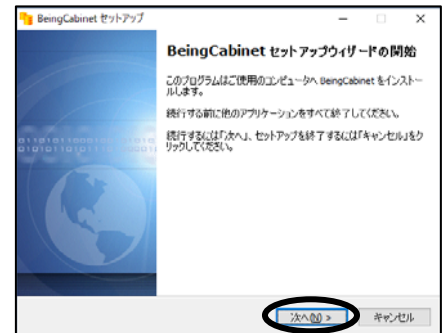


＜「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が自動起動しない場合＞

Windows のスタートボタンを右クリックから[エクスプローラ]をクリックします。
Gaia10 の「Disc1 システム」の DVD 中の「BeingCabinet」フォルダ内の「Setup.exe」をダブルクリックすると、「BeingCabinet セットアップ」画面が起動します。

「BeingCabinet セットアップ」画面が表示されます。
[次へ]をクリックします。

以降の手順は、Gaia10 スタンドアロン版インストールマニュアルの「BeingCabinet の設定 (P.7)」をご参照下さい。



3.インストール時のご注意

■ ポート番号について

パーソナルファイアウォール等の設定がされている場合は、下記のポートの制限を解除して下さい。
制限を解除しても問題が解消できない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

NO	ポート	プロトコル	通信方向	用途
1	80, 443	TCP	送信	ダウンロード、インターネットプロテクト
2	25	TCP	送信	メール送信 ※機能を有効にしている時のみ
3	2638,49152~49170	TCP/UDP	送信	データベースのアクセス
4	80(8080, 8008) ※参照	TCP	送信	BeingCabinet 連携
5	2638,49152~49170	TCP/UDP	受信	データベースのアクセス
6	1024~65535	TCP	受信	サーバー通信

※ (8080)・・・80が使われていた場合の第2優先

※ (8008)・・・80が使われていた場合の第3優先

■ 他社製品について

Gaia10 ではデータベースとして Sybase, Inc. の「SQL Anywhere」、エンバカデロ・テクノロジーズ社の「Borland DataBase Engine」を使用しています。インストール時に以下の製品がインストールされます。
詳細については各製品のオンラインヘルプまたは README ファイルをご参照下さい。

・SQL Anywhere

以上の製品の著作権は Sybase, Inc. が所有しています。

- Borland Database Engine
以上の製品の著作権はエンバカデロ・テクノロジーズ社が所有しています。
- UNLHA32.DLL
UNLHA32.DLL は Micco 氏のフリーソフトウェアです。
- UnZip32.DLL
UnZip32.dll Copyright (C) 1990-2002 Info-ZIP. All Rights Reserved.
- ファイルのプレビューにおいて、アドバンスソフトウェア株式会社の著作物である「VB-Report Ver3.0 (ActiveX 版)」を再配布条件に基づき使用しています。

注意点

- ◆ Gaia10 に付属する SQL Anywhere は、Gaia10 以外の用途に使用することは認められていません。
- ◆ Gaia10 以外の用途に使用される場合は、別途 SQL Anywhere のパッケージをお買い上げ下さい。
また、不正使用によるトラブルは、当社は一切責任を負わないものとします。ご了承下さい。

■ データのバックアップについて

お客様が作成されたデータは定期的にバックアップをお取り下さい。

ハードディスクの障害等でデータが破損した場合、単価データ、工種データ等は、インストール用 DVD から出荷時の状態に復旧できますが、お客様が入力された単価データ・工種データ等は消えてしまいます。
また、積算された工事データは DVD からは復旧できません。

工事のバックアップは、「工事名表」の[工事を保存]メニューを、その他のデータについては「起動メニュー」から[データ管理]を起動し、「データを保存」をお使い下さい。

また、「起動メニュー」から[ユーザーサポート]を起動し、「データベースユーティリティ」にてデータベースファイルごとバックアップすることも可能です。

詳しくは、Gaia10 のオンラインヘルプをご参照下さい。

■ アンインストールについて

Gaia10 のアンインストールでは、データベースファイルは削除されません。アンインストール後、同じディレクトリのフォルダに再インストールを行った場合、既存(アンインストールされずに残っている)のデータベースをそのまま使用することが可能です。

4. Gaia10 初期導入手順

Gaia10 導入時に行う作業をご説明します。Gaia10 のインストールを行ってから、積算を行うまでに、この初期導入手順を元に各種設定、登録を行っておくと、スムーズに積算を開始することができます。あくまでも参考手順ですので、必ずこの手順に従わなければいけないということではございません。

① 会社情報の登録を行って下さい。

[プログラム] - [Gaia10] - [Gaia10 起動メニュー]をクリックし、[ユーザー管理]を選択します。
「ユーザー管理」画面が表示されますので、メニューバーの[編集] - [会社情報]をクリックします。
「会社情報」画面が表示されますので、画面の必要な項目を入力し、[OK]をクリックして下さい。

② 土木工事積算システム Gaia9 または GaiaRX をお使いのお客様で、Gaia10 で Gaia9 または GaiaRX のデータをお使いになる場合は、移行ツールで移行を行って下さい。移行ツールの操作手順は、「[5. Gaia10 にて Gaia9 または GaiaRX のデータを使用する\(P.7\)](#)」をご参照下さい。

5. Gaia10 にて Gaia9 または GaiaRX のデータを使用する

移行ツールを使用して、Gaia9 または GaiaRX のデータを Gaia10 へ移行します。

※必ずしも行わなくてはいけない手順ではありません。

※Gaia9 と GaiaRX の移行手順は同じですので、Gaia9 から Gaia10 に移行する方法をご案内します。

注意点

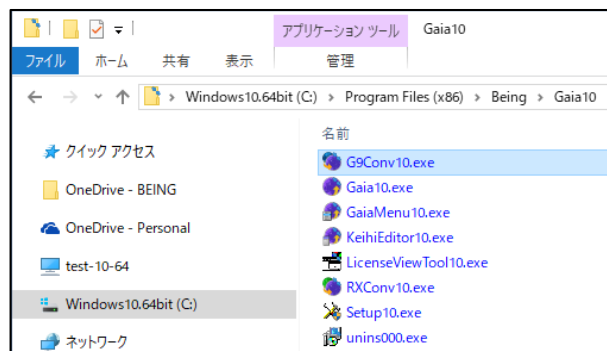
- ◆ 下記のケースに該当する場合は、移行ツールは起動できません。
 - ・同一のパソコンに Gaia10 と Gaia9 または GaiaRX がインストールされていない場合

- ・Gaia10 のプロテクトではない場合
- ・Gaia9 または GaiaRX と Gaia10 のインストール形態が異なる場合
(例: Gaia9 または GaiaRX がネットワーク版サーバーで Gaia10 がスタンドアロン版など)

① 移行ツールを起動します。

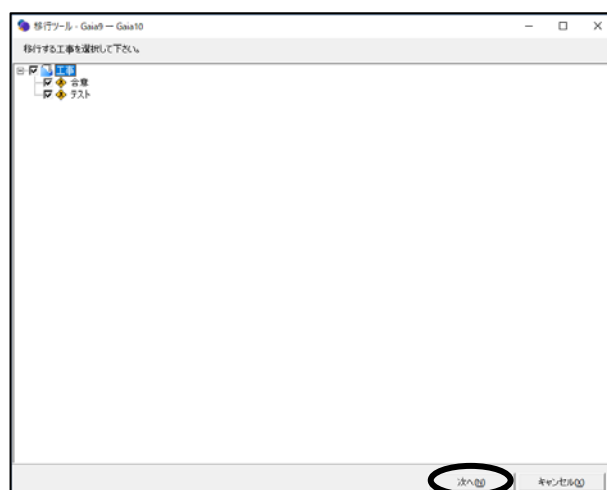
移行ツールは、インストール先のドライブが C ドライブの場合、「C:\Program Files\Being\Gaia10\G9Conv10.exe」
64 ビット環境では、「C:\Program Files (x86)\Being\Gaia10\」に格納されています。

G9Conv10.exe をダブルクリックして移行ツールを起動します。
(GaiaRX では RXConv10.exe を使用します。)



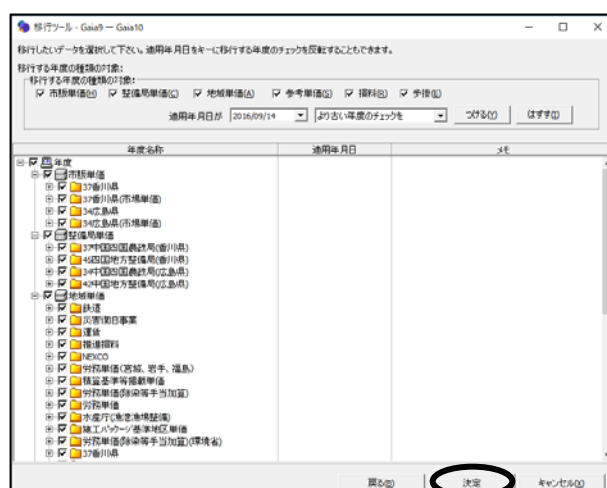
② Gaia9 の工事を選択します。

移行したい工事にチェックを付けます。
[次へ]をクリックします。



③ 年度を選択します。

Gaia9 で Gaia10 に移行したい年度にチェックを付けます。
[決定]をクリックします。



・移行できるデータは下表の通りです。

移行対象データ		移行ツール	
BeingCabinetのデータ	工事	×	
	ユーザー情報	×	
	工事、ユーザー情報以外のデータ	×	
Gaia9のデータ	工事	○ ※1	
	単価	○ ※1	
	見積単価	○	
	工種	○ ※1	
	見積歩掛	○	
	損料	○ ※1	
	経費	○	
	新土積	×	
	ユーザー情報	○	
	発注者情報	△ ※2	
	単価選択履歴	○	
	マスタ	単位マスタ	○
		業者マスタ	○
		落札業者マスタ	○
		要素マスタ	○
		丸めマスタ	○
		条件マスタ	○
		最低制限調査基準マスタ	○
		実行工種履歴	○
		自動積算丸めマスタ	○
		条件自動選択マスタ	○
		間接費紐付けマスタ	○
		諸雑費情報	○
Exce帳票	×		
フォームファイル	×		
オプション	○		
GaiaRXのデータ	工事	○ ※1	
	単価	○ ※1	
	工種	○ ※1	
	損料	○ ※1	
	経費	×	
	新土積	×	
	ユニットプライス	×	
	ユーザー情報	○	
	発注者情報	経費カスタマイズ以外	△ ※2
		経費カスタマイズ	×
	単価選択履歴	○	
	マスタ	単位マスタ	○
		業者マスタ	○
		落札業者マスタ	○
		要素マスタ	○
		丸めマスタ	○
		条件マスタ	○
		プライス条件マスタ	×
		最低制限調査基準マスタ	×
		実行工種履歴	○
		自動積算丸めマスタ	○
		諸雑費情報	○
		Exce帳票	×
フォームファイル	×		
オプション	○		

○…移行可能
△…条件付で
移行可能
×…移行不可

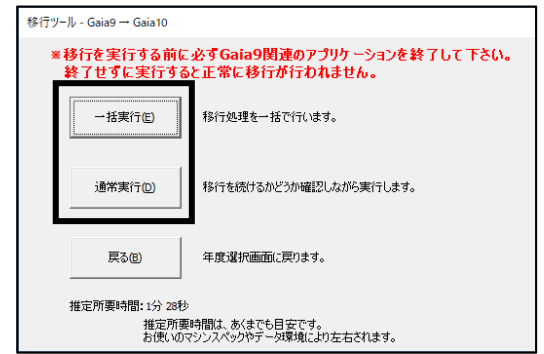
※1 移行時に、移行するデータの選択可

※2 ユーザー作成分のみ上書き禁止で移行を行います

④実行モードを選択します。

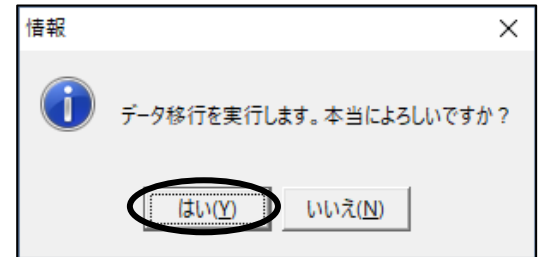
[一括実行]・・・すべてのデータの移行処理を一括で行います。

[通常実行]・・・移行するデータが切り替わる時に、
移行を続けるかどうかの確認画面が
表示されます。



[一括実行]または[通常実行]をクリックすると、
右図の確認画面が表示されます。

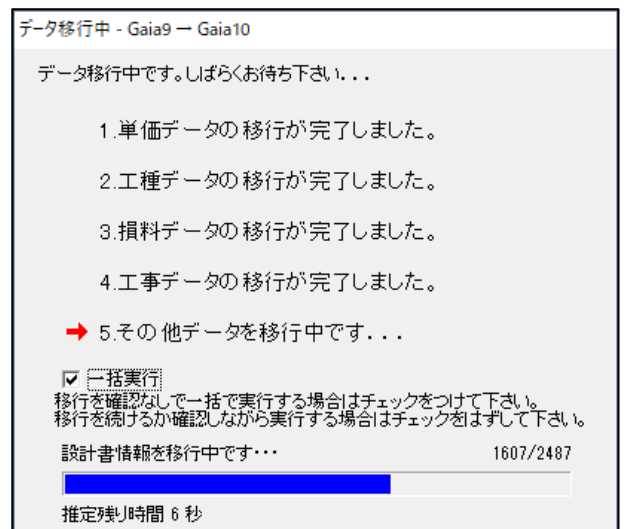
[はい]をクリックします。



⑤移行処理が行われます。

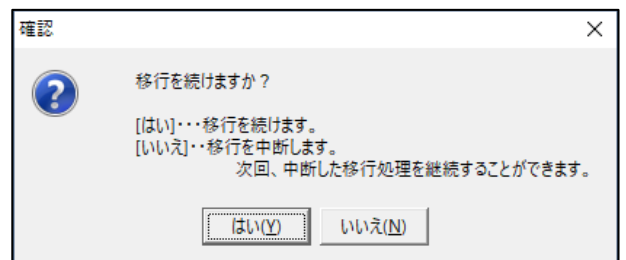
④で[一括実行]を選択した場合でも、「データ移行中」画面で
一括実行のチェックをはずすと、移行を続けるかどうかの確認
画面を表示することができます。

④で[通常実行]を選択した場合でも、「データ移行中」画面で
一括実行にチェックを付けると、確認画面を表示せずに
一括で処理することができます。

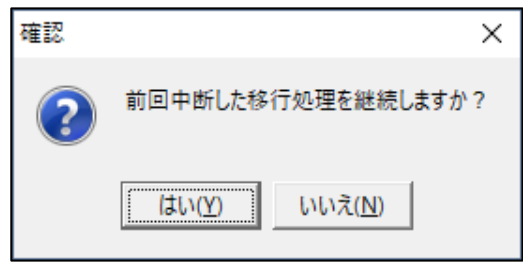


「通常実行」を選択した場合、移行処理が切り替わる
タイミングで右図の確認画面が表示されます。

[はい]をクリックすると、移行処理をそのまま継続します。
[いいえ]をクリックすると、移行処理を中断します。



[いいえ]をクリックし、移行処理を中断した場合、次回、移行ツールを起動すると、中断した処理を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
 [はい]をクリックすると、手順④の実行モードを選択する画面が表示されます。
 「いいえ」をクリックすると、手順②の Gaia9 の工事を選択する画面が表示されます。



⑥右図の画面が表示されると、データの移行処理は完了です。



6. プロテクトドライバをインストールする

■ プロテクトドライバを個別にインストールする

通常の手順で Gaia10 のインストールを行っても USB プロテクトが認識されない場合に行います。
 「エラー12 Calling Sproinitialize」という画面が表示される場合にも、この手順を行って下さい。

インストールを行う場合は、ログオンユーザーに Administrator 権限が必要です。
 必ず Administrator 権限を持つユーザーでログオンし、インストールを開始して下さい。(P.2 参照)

◆古いバージョンのプロテクトドライバがインストールされている場合は、削除を行ってからインストールして下さい。

◆古いバージョンのプロテクトドライバの削除方法

- ① Windows の [コントロールパネル] から [プログラムと機能] をダブルクリックします ([コントロールパネルを開く](#))。
- ② 一覧より「Sentinel System Driver」を選択します。
 (見当たらない場合は削除の必要はありません。)
- ③ [削除] または [アンインストール] をクリックします。

USB プロテクトは接続していない状態で下記手順を進めて下さい。

DVDドライブに Gaia10 の「Disc1 システム」の DVD を入れます。DVD が読み込まれると、「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が表示されますので、[Gaia10 システム] を選択します。

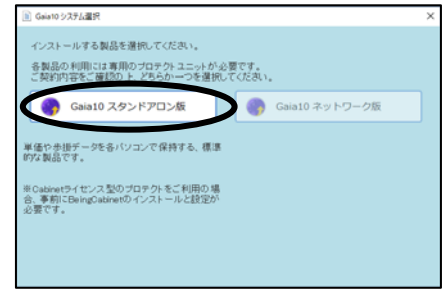


「Gaia10 システム選択」画面が表示されますので、
「Gaia10 スタンドオン版」を選択します。

＜「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」
画面が自動起動しない場合＞

Windowsのスタートボタンを右クリックから[エクスプローラ]をクリックします。

Gaia10の「Disc1 システム」のDVDの中の「setup.hta」
ファイルをダブルクリックすると、「Gaia10 インストール
ディスク選択メニュー」画面が起動します。



「積算システム インストール」画面が表示されます。



をクリックします。



右図の画面が表示されます。

[OK]をクリックすると、インストールを開始します。

再起動を促す画面が表示される場合には、コンピュータの
再起動を行います。



プロテクトドライバのインストールが完了しましたら、コンピュータにプロテクトを接続して下さい。
その後、再起動を促す画面が表示された場合は、コンピュータを再起動して下さい。

セットアップメニューからインストールできない場合は、プロテクトドライバを手動でインストールします（「[プロテクト
ドライバを手動でインストールする\(セットアップメニューからインストール出来ない場合\)\(P.12\)](#)」を参照）。

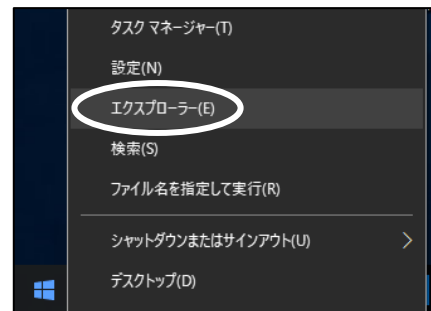
■ プロテクトドライバを手動でインストールする (セットアップメニューからインストールできない場合)

①DVDドライブにGaia10の「Disc1 システム」のDVDを入れます。DVDが読み込まれると、「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が表示されます。

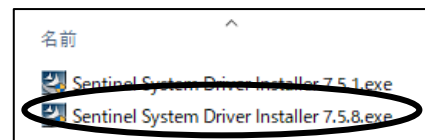
画面右上の [X] をクリックし、メニューを終了します。



②[スタート]ボタンを右クリックし、[エクスプローラ]をクリックします。



③Gaia10の「Disc1 システム」のDVDの中の「スタンドアロン版」フォルダ内の「Sentinel」フォルダを開き、「Sentinel System Driver Installer 7.5.8.exe」のファイルをダブルクリックします。



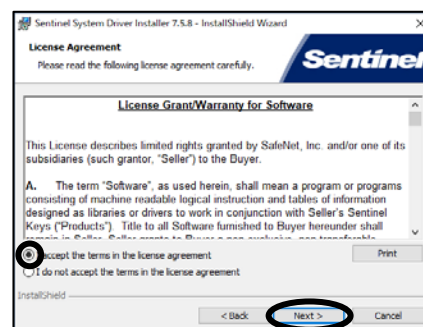
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
[はい]をクリックすると、プロテクトのインストールを開始します。



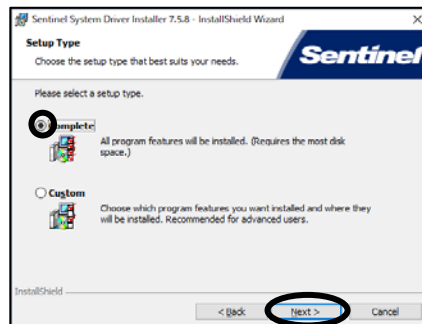
④右画面が表示されます。[Next]をクリックします。



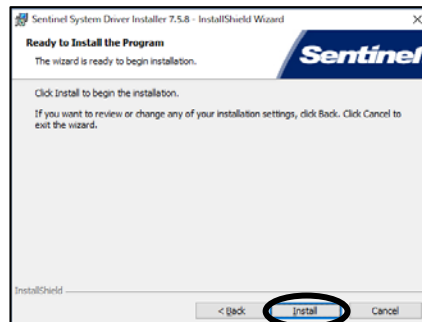
⑤「I accept the terms in the license agreement」を選択し、
[Next]をクリックします。



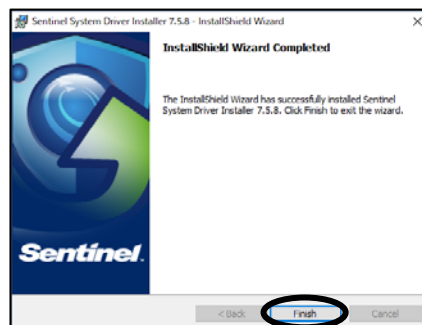
⑥「Complete」を選択し、[Next]をクリックします。



⑦[Install]をクリックすると、ファイルコピーが始まります。

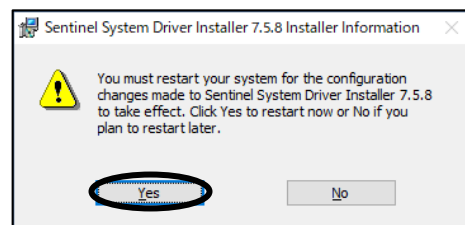


⑧[Finish]をクリックします。



⑨英語で Windows の再起動の確認画面が表示される場合があります。
[Yes]をクリックします。(自動的にパソコンが再起動されます。)

- ◆[No]をクリックした場合は、手動でパソコンを再起動して下さい。
- ◆右画面が表示されない場合は、再起動の必要はありません。
次の手順に進んで下さい。



USB プロテクトを接続して、プロテクトのランプが点灯するか確認して下さい。
ランプが点灯した場合は自動的にインストールが始まり、完了します。

自動的にインストールが完了しない場合は、以下の手順を実行して下さい。

- ◆プロテクトのランプが点灯しない場合
(機械の設定により、USB のサービスを使用できない状態である可能性があります。)
- 1. Windows を終了し、機械を再起動し、BIOS の設定画面を表示して下さい。
(BIOS の設定画面の表示方法はコンピュータの機種・メーカーによって異なります。コンピュータの取扱説明書等をご覧下さい。)
- 2. USB の使用可・不可の選択を表示させて、USB=Enabled という設定にして下さい。
(この設定もコンピュータの機種・メーカーによって異なりますのでコンピュータの取扱説明書等をご覧下さい。)

7. SQL Anywhere 9 を個別にインストール

Gaia10 をインストールすると、SQL Anywhere 9 がインストールされます。
なんらかの理由で SQL Anywhere 9 をアンインストールした場合、個別に SQL Anywhere 9 をインストールすることができます。

DVDドライブにGaia10の「Disc1 システム」のDVDを入れます。

DVDが読み込まれると、「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が表示されますので、[Gaia10 システム]を選択します。

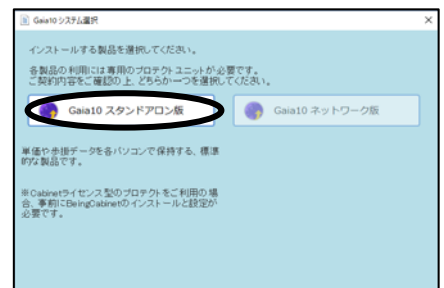
「Gaia10 システム選択」画面が表示されますので、

[Gaia10 スタンドアロン版]を選択します。

「積算システム インストール」画面が表示されます。




をクリックします。

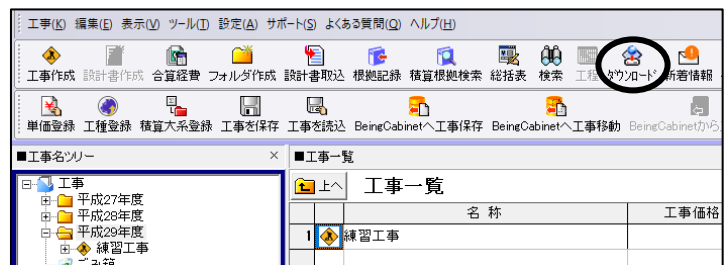


8.ダウンロード手順

工事名表のダウンロードメニューより、データの更新が行えます。

①「工事名表」画面にて、

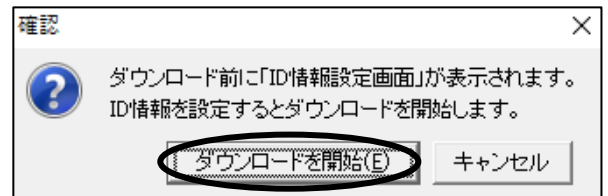
ツールバーの  をクリックします。



◆メニューバーの[サポート]－[ダウンロード]－[ダウンロード]でも同様です。

- ②ID 情報設定を行います。
 (インストール時に ID 情報の設定を行っていない場合)
 ※2回目以降のダウンロードを行う場合、
 この画面は表示されません。

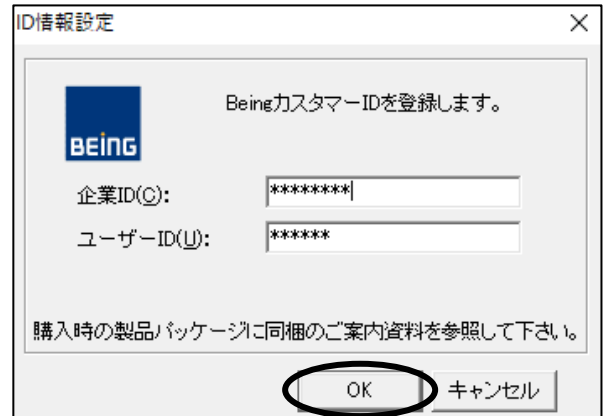
右図の画面が表示されます。
 [ダウンロードを開始]をクリックします。



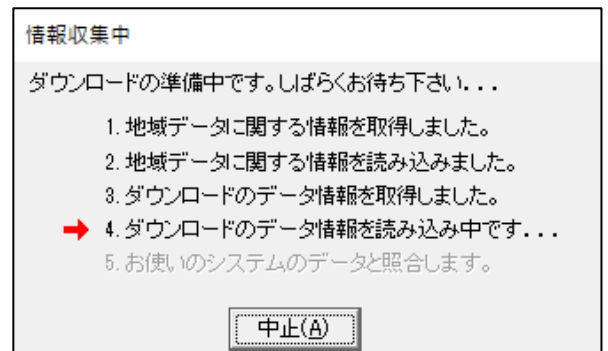
- ③「ID 情報設定」画面が表示されます。
 「企業 ID」、「ユーザーID」を入力し、[OK]をクリックします。

◆企業 ID、ユーザーID については、ご購入時にお渡しております「Being カスタマーIDのご案内」にて、ご確認ください。

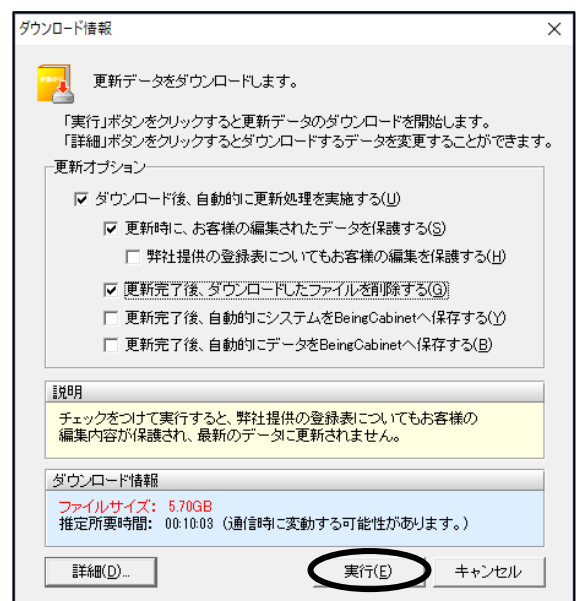
◆「工事名表」画面にて、メニューバーの[サポート] - [ダウンロード] - [ID 設定]をクリックでも、「ID 情報設定」画面が表示されます。



- ④右図の画面が表示されます。しばらくお待ち下さい。



- ⑤「ダウンロード情報」画面が表示されますので、「更新オプション」を設定し、[実行]をクリックします。



◆更新オプション

更新オプション	
①	<input checked="" type="checkbox"/> ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する(U)
②	<input checked="" type="checkbox"/> 更新時に、お客様の編集されたデータを保護する(S)
③	<input type="checkbox"/> 弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する(H)
④	<input checked="" type="checkbox"/> 更新完了後、ダウンロードしたファイルを削除する(G)
⑤	<input type="checkbox"/> 更新完了後、自動的にシステムをBeingCabinetへ保存する(Y)
⑥	<input type="checkbox"/> 更新完了後、自動的にデータをBeingCabinetへ保存する(B)

①「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」

「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」にチェックを付けることで、ダウンロード後、自動でデータ更新処理を行います。
データ更新を行わない場合はチェックを外して下さい。

②「更新時に、お客様の編集されたデータを保護する」

「更新時に、お客様の編集されたデータを保護する」にチェックを付けることで、お客様が登録・編集したデータを残しておくことができます。
この項目にチェックを付けた場合、年度を追加する場合と、年度を上書きする場合とで保護される内容が異なります。

③「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」

「弊社提供の登録表についてもお客様の編集を保護する」にチェックを付けることで、弊社提供の登録表についてもお客様の編集内容が保護され、最新のデータに更新されません。

④「更新完了後、ダウンロードしたファイルを削除する」

ダウンロードを行うと、データインストールフォルダ先の「Download」フォルダに保存されます。
「更新完了後、ダウンロードしたファイルを削除する」にチェックを付けることで、データ更新を行った後で、ダウンロードしたファイルを自動で削除することができます。

⑤「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」

「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」にチェックを付けることで、データ更新を行った後で、更新されたシステムを自動で BeingCabinet に保存することができます。
(※BeingCabinet を使用しない場合、選択はできません。)

⑥「更新完了後、自動的にデータを BeingCabinet へ保存する」

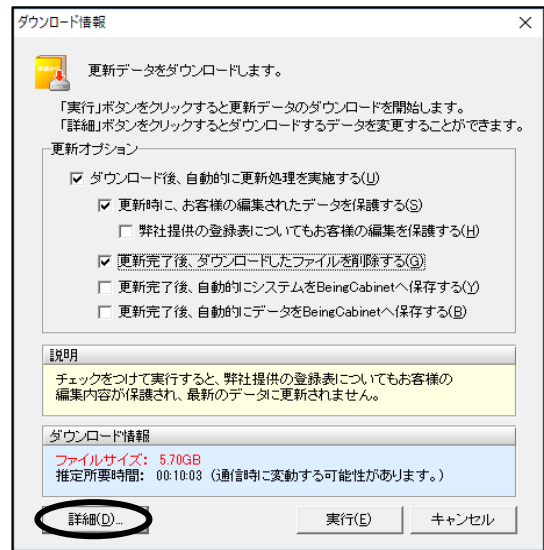
「更新完了後、自動的にデータを BeingCabinet へ保存する」にチェックを付けることで、データ更新を行った後で、更新されたデータを自動で BeingCabinet に保存することができます。
(※BeingCabinet を使用しない場合、選択はできません。)
(※このチェックを付けると、自動的に「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」が有効になります。)

◆アップデートするデータの選択は、システムが自動的に検知して最適なチェックを行いますので、通常はそのまま[実行]をクリックして下さい。

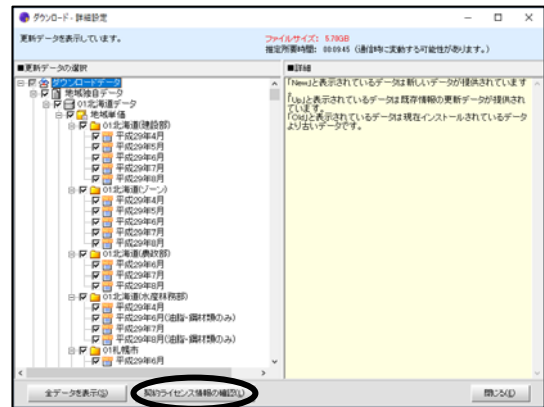
「ダウンロード情報」画面左下の[詳細]をクリックすると、ダウンロードするデータを選択することができます。
また、「工事名表」画面にて、メニューバーの[設定]ー[対象地域設定]をクリックし、対象地域を選択することで、「ダウンロードー詳細設定」画面に表示する地域を制限することができます。
「ダウンロードー詳細設定」画面左下の[全データを表示]をクリックすると、「更新済みのデータのチェックは無効になります。よろしいですか?」の画面が表示されます。
[はい]をクリックすると、「更新データの選択」ツリー内で設定したチェックは無効になり、全データが表示されます。


◆契約済みの地域データを確認するには・・・

①「ダウンロード情報」画面にて、「詳細」をクリックします。



②「ダウンロードー詳細設定」画面にて、「契約ライセンスの確認」をクリックします。



③「契約ライセンス情報確認画面」が表示されます。
契約済みの地域データには、 が付いています。

確認が終了したら、「閉じる」をクリックします。

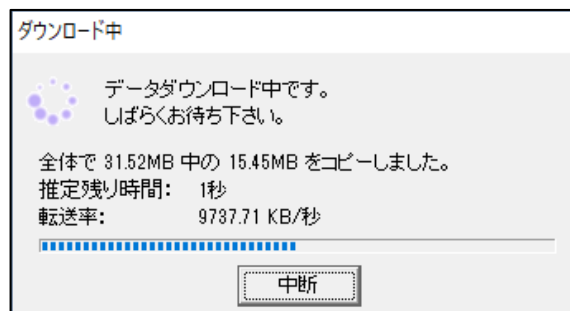
契約ライセンス情報確認画面

契約済みのダウンロードデータ一覧を表示しています。 企業ID: プロジェクト番号:

契約している地域名	契約開始年月(建設物種-権限範囲)												地域単価-歩掛など	契約開始日(地域)	契約終了日(地域)	契約開始日(市)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
01北海道	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
02青森県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
03岩手県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
04宮城県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
05秋田県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
06山形県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
07福島県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
08茨城県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
09栃木県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
10群馬県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
11埼玉県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
12千葉県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
13東京都	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
14神奈川県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19
15新潟県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		2017/06/19	2022/06/19	2017/06/19

閉じる(D)

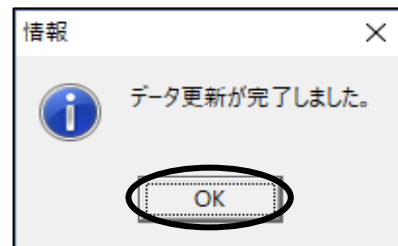
⑥ダウンロードが開始されます。



更新オプションで「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」にチェックを付けた場合、ダウンロード後、自動的にデータ更新が開始されます。

しばらくお待ち下さい。

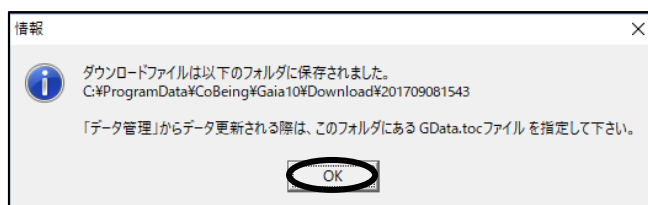
データ更新が完了すると、右の画面が表示されます。
[OK]をクリックして下さい。




●更新オプションで「ダウンロード後、自動的に更新処理を実施する」にチェックを付けていない場合

下図のような画面が表示され、ダウンロードが完了します。

ダウンロードファイルが保存された場所とファイル名を確認し、[OK]をクリックします。



データ更新をする際は、[Gaia10 起動メニュー]－[データ管理]－[データを更新]－[ファイルから更新]より、保存したファイルを指定し、データの読込を行って下さい。

詳しくは、ツールバーの  をクリックし、ヘルプの「目次」タブ－「データ管理」－「データ更新」－

「ファイルから更新」－「ダウンロードデータを読み込む(データの更新)」をご参照下さい。

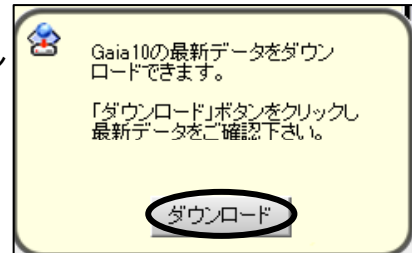
●更新オプションで「更新完了後、自動的にシステムを BeingCabinet へ保存する」
「更新完了後、自動的にデータを BeingCabinet へ保存する」にチェックを付けた場合

データ更新完了後に、自動で BeingCabinet に保存されます。

◆Gaia10 起動時に、「Gaia10 の最新データをダウンロードできます。～」の画面が表示される場合

2回目以降ダウンロードを行う場合で、ビーイングのダウンロードサーバーに Gaia10 の更新データがアップされている場合、ダウンロードを促すお知らせ画面が表示されます。

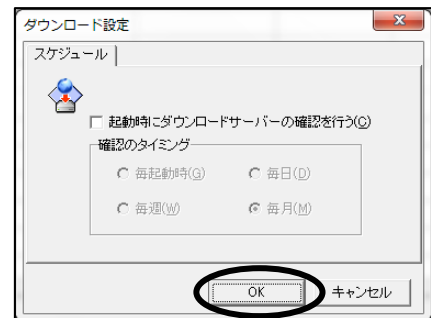
[ダウンロード]をクリックし、最新データをご確認いただき、必要であればダウンロード・データ更新を行って下さい。
(「工事名表」画面にて、ツールバーの[ダウンロード]をクリックでも同様です。)



<お知らせ画面の表示設定>

①「工事名表」画面にて、メニューバーの[サポート] - [ダウンロード] - [スケジュール設定]をクリックします。

②「ダウンロード設定」画面が表示されます。
起動時にダウンロードサーバーの確認を行うかどうかの設定、確認のタイミングの設定を行うことができます。



設定が終わりましたら[OK]をクリックします。

9.よくあるエラー

何らかの原因で予期せぬエラーが起きた場合、エラー画面が表示されることがあります。

発生箇所、エラーコード、詳細内容、システムバージョンを、弊社サポートまでご連絡下さい。

①発生箇所

エラーが発生した【画面名】【アプリケーション名】の順に表示されます。

②エラーコード

エラーの種類を9桁の数字で表します。

③詳細内容

詳細なエラー画面が表示されます。

④システムバージョン

現在、使用しているシステムのバージョンが表示されます。



■ コードからエラーの内容を確認する

以下の表に、主なコードをまとめました。トラブル解決の参考にして下さい。

コード	エラー内容	確認事項等
上3桁	エラーの種類を示します。	
064	本システムから Excel や Word 等の他アプリケーションの起動に失敗したことを示しています。	他アプリケーションがインストールされているかどうかをご確認下さい。
065	本システムから Excel や Word 等の他アプリケーションの起動はできたが、そのアプリケーション上での実行に失敗したことを示しています。	すでに他アプリケーションが起動していないかどうかをご確認下さい。
074	データベースが原因でエラーが発生していることを示しています。	中3桁、下3桁のコードでより詳細な情報を得ることができます。(下記の表以降を参照) ご確認のうえ、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。
079	データベースが原因でエラーが発生していることを示しています。	中3桁、下3桁のコードでより詳細な情報を得ることができます。(下記の表以降を参照) ご確認のうえ、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。
139	印刷フォームファイルの構成が正しくない可能性があることを示しています。	データインストールフォルダ¥Gaia10¥Forms 以下の構成が正しいかどうか等を確認するため、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

上3桁が「074」または「079」の場合は、以下も参考にして下さい。

コード	エラー内容
中3桁	上3桁が 074～081 の場合に 000 以外が表示されます。 エラーが発生している DB 名称や DB 内部の発生箇所を示します。
100～	工事管理 DB でエラーが発生していることを示しています。
200～	年度 DB でエラーが発生していることを示しています。
300～	パーソナル DB でエラーが発生していることを示しています。
400～	工事 DB でエラーが発生していることを示しています。
500～	歩掛 DB でエラーが発生していることを示しています。
600～	単価 DB でエラーが発生していることを示しています。
コード	エラー内容
700～	経費 DB でエラーが発生していることを示しています。
800～	マスタ DB でエラーが発生していることを示しています。
1100	ユーザーサポートの自動復旧ができなかったことを示しています。
下3桁	上3桁が 074～081 の場合に 000 以外が表示されます。 DB エラーの種類を示します。
035	読み込みに失敗しました。
071	キー違反です。
506	一般 SQL エラーです。

■ ダウンロード中のエラーの場合

コード	エラー内容	確認事項等
143	インターネットに接続できなかったことを示しています。(タイムアウト・ポートが閉じられている)	インターネットへの接続設定を再度ご確認ください。 接続時間に関して制限を設けていないか、ルータ等の設定をご確認ください。
150	インターネットに接続できなかったことを示しています。(タイムアウト) SocketError#10060 SocketError#10065 等	
170	インターネットに接続できなかったことを示しています。(サーバーへの接続に失敗) SocketError#11004 SocketError#11001 等	ダウンロード中にインターネットへの接続が不安定になったり、途中で切断されなかったかどうかご確認ください。 接続時間に関して制限を設けていないか、ルータ等の設定をご確認ください。
12007	インターネットに接続できない、または、DNS の設定が正しくない、または、Proxy の設定が正しくないことを示しています。	インターネットへの接続設定を再度ご確認ください。
12031	ダウンロード中に接続が切断されたことを示しています。	接続時間に関して制限を設けていないか、ルータ等の設定をご確認ください。

10. ご使用時の注意事項

Windows で使用される場合の注意事項をお知らせします。制限事項等の最新情報は、弊社ホームページに掲載しておりますのでご確認下さい。

- ◆Windows 環境を快適にご使用いただくため、コンピュータの搭載メモリは 2GB 以上を推奨します。搭載メモリが 2GB 未満の場合は、動作が遅いなど、Gaia10 のほか一部のソフトウェアが正常に動作しないことがあります。
- ◆Windows で Gaia10 をご使用される場合、Guest アカウントでログオンされると別のコンピュータにインストールした BeingCabinet に正常にネットワーク接続できない場合があります。Users 権限以上のアカウントを作成して使用されることを推奨します。

■製品の検証環境

対応する「Windows」製品は以下のとおりです。

- ・Windows 8.1 日本語版
- ・Windows 10 日本語版

11. BeingCabinet の使用について

Gaia10 を複数台ご使用の場合、BeingCabinet をご利用いただくと、工事データの共有や、歩掛変更などによって最新の状態に更新されているデータを簡単に共有することが実現できます。

※この機能は BeingCabinet を使用する設定の場合のみご利用になれます。

■BeingCabinet をインストールすると…

BeingCabinet をインストールしたサーバー用コンピュータに、ネットワーク経由で接続できる環境であれば、BeingCabinet に保存されているデータを、Gaia10 をインストールしたコンピュータで共有することができます。
※BeingCabinet と同じコンピュータに Gaia10 をインストールしている場合も同様です。

- ・工事データをサーバー用コンピュータに保存し、他の Gaia9 と共有できます。
- ・単価、歩掛、経費、Excel 帳票、発注者データを BeingCabinet に保存し、他の Gaia9 にて、ダウンロード して使用することができます。

- ①BeingCabinet を使用する場合は、サーバー用コンピュータに、BeingCabinet をインストールします。
BeingCabinet のインストール方法については、「BeingCabinet インストールマニュアル」をご参照下さい。
- ②Gaia10 をインストール時であれば、インストールマニュアルの「BeingCabinet の設定 (P.7)」をご参照下さい。
- ③Gaia10 を起動すると、自動的に BeingCabinet に、更新データがないかどうかチェックを行います。

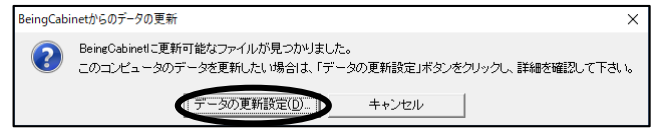
「工事名表」の[ツール]－[BeingCabinet]－[オプション設定]をクリックすると「オプション」画面が表示されます。「オプション」画面の「差分オプション」で、「起動時に最新データへの更新が必要かチェックを行う」にチェックを付けると、次回から「Gaia10 起動メニュー」で、[積算][データ管理][ユーザー管理][経費エディタ][フォームエディタ]を選択した場合と、Gaia10 の[積算]を直接起動した場合に差分のチェックが行われます。

■BeingCabinet に更新可能なファイルがない場合

起動メニューで選択した画面がそのまま表示されます。更新の必要はありません。

■BeingCabinet に更新可能なファイルがある場合

右図の画面が表示されます。



<データの更新を行う場合>

[データの更新設定]をクリックします。

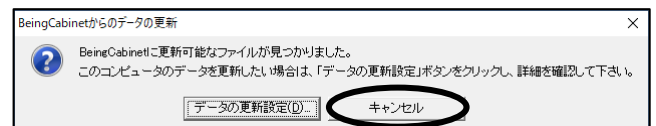
「最新データの更新」画面が表示されますので、更新したいデータを選択します。

後述の「[手順④](#)」にお進み下さい。



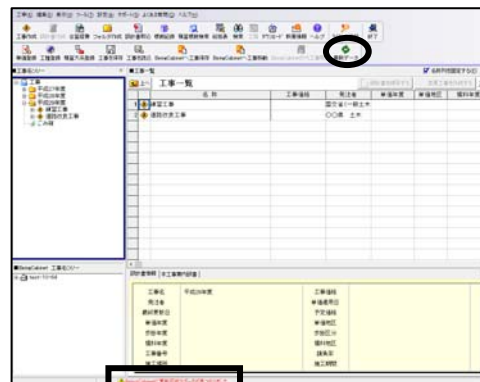
<データの更新を行わない場合>


[キャンセル]をクリックすると、データの更新を行いません。起動メニューで選択した画面が、表示されます。※データの更新を行わない場合も、通常の作業を行うことができます。



◆データの更新を行わなかった場合

画面下のステータスバーに、「BeingCabinetに更新可能なデータが見つかりました。」と、お知らせが表示されます。



起動時にデータの更新を行わなかった場合でも、ツールバーの  をクリック、

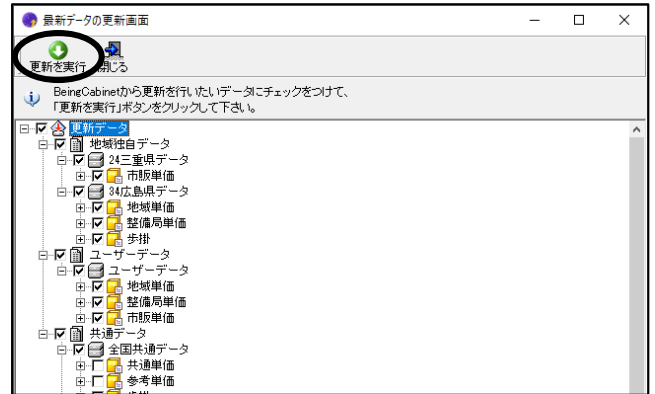
または、メニューバーの[ツール] - [BeingCabinet] - [BeingCabinet から最新データを更新]にてデータの更新ができます。

- ④BeingCabinet とお使いのパソコンのデータを比較し、
差分があるデータには、自動的にチェックが付きます。

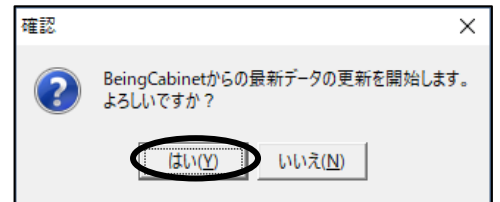
更新を行うデータを確認し



をクリックして下さい。

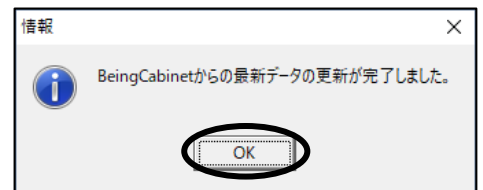


右図の画面が表示されます。
よろしければ[はい]をクリックして下さい。



データの更新が開始されます。
更新するデータの量によっては時間がかかる場合があります。


すべてのデータの更新が完了すると、右図の画面が表示されます。
[OK]をクリックし、終了して下さい。



◆BeingCabinet ヘデータの保存

BeingCabinet ヘデータの保存をすることもできます。BeingCabinet ヘデータを保存しておく、他のコンピュータとのデータの共有が、簡単に実現できます。

「Gaia10 起動メニュー」で[積算]もしくは[データ管理]を起動、または、データ更新後に BeingCabinet ヘデータの保存をすることができます。

BeingCabinet へのデータの保存方法については、ツールバーの  ヘルプ をクリックし、ヘルプの「目次」タブー「積算を行う」ー「工事名表」ー「BeingCabinet 書庫サーバー」ー「BeingCabinet 連携」ー「工事名表から更新データを BeingCabinet 書庫サーバーに保存する」および「データ更新ツールから更新データを BeingCabinet 書庫サーバーに保存する」をご参照下さい。

12. インターネットプロテクトについて

■お客様ご契約情報について

工事名表の[サポート]ー[BeingWeb ページ]ー[お客様ご契約情報]をクリックすると、「お客様ご契約情報」が表示されます。

お客様ご契約情報では、


- ライセンス情報の確認
- メールアドレスの設定
- パスワードの変更

が行えます。

※お客様契約情報にログインするには、商品に同梱されている「企業 ID」「ユーザーID」「パスワード」が必要です。

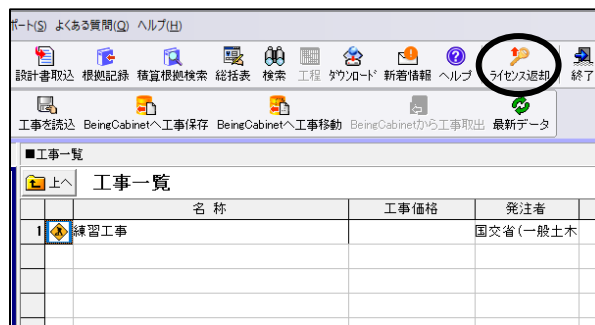
■ライセンスの返却について

ライセンスを返却するには、Gaia10 を起動し、

工事名表のツールバーの  をクリックします。

(工事名表メニューの[工事]－[ライセンスを返却して終了]
をクリックでも同様です。)

返却したライセンスは他のコンピュータで使用できます。



次回起動時は、インターネットに接続し、空きライセンスを取得することにより起動できます。

- ・ライセンスを占有したままコンピュータが故障した場合は、強制返却を行います。
強制返却は、「お客様ご契約情報」の「ライセンス情報」より行って下さい。

※「お客様ご契約情報」は、工事名表の[サポート]－[BeingWeb ページ]－[お客様ご契約情報]をクリックすると、表示します。

※お客様ご契約情報にログインするには、商品に同梱されている「企業ID」「ユーザーID」「パスワード」が必要です。

返却せずに終了した場合は、インターネットに接続できない環境でも、一定期間オフラインで使用できます。
オフラインで使用できる期間は、インターネットに接続した状態で起動した最終日から7日間です。
それ以降はオフラインで起動できませんので、インターネットに接続した状態で起動して下さい。